馬耳東風

日本の国土には，地域固有の輝きに満ちた個性がある．そこに生きる人々が宿命的に受け入れ，連綿と守り育ててきたものだ．当たり前すぎて気付かないことも多い．潜在する日本人の遺伝的とも言える感性が揺さぶられる．方言丸出しの声を聞くとホッとして，心からの会話が成り立つのだ．故郷の形の中に音が響き，懐かしい香りがお供してやってくる．「もりおか」駅は，正面にひらがな書きで啄木と添えてある．「ふるさとの 山に向かいて 言うことなし ふるさとの山は ありがたきかな」近くの渋民村が出生地で，駅前の碑文が岩手山を背に出迎える．詩情豊かな駅前に立つと，新渡戸稲造の柔和な顔の胸像が目につく．盛岡が誇る国際人の故郷なのだ．「農業本論」（新渡戸稲造著 東京 裳華房発行 初版本 明治31年）と「農は産業の基，農民は国家の源なり 稲造」と記した墨書の裏表紙が添えてある．「岩手の“大地”と“ひと”とともに」を標榜する岩手大学図書館が所蔵し，同大ミュージアムに展示されている．木彫りのキャラクター“がんちゃん”の出迎えはまさに今風だし，庭の宮沢賢治の影長の彫像も前衛的で魅力がある．本書は国内最初の農学博士の論文で，これほどまでに国際的な広い視野から，農業を基幹産業として捉え論証した文献は見当たらない．初版本をぜひ見たいとの思いから岩手大学を訪問した．農学総体の材料を人的・自然的に体系化して農学の位置づけを明らかにし，経済や政治あるいは諸組織との関連を理論付けている．生産学の中で畜産学と獣医学は並列され，農学と医学の比較論では理論的な共通性に注目したい．「農は万年を寿ぐ亀の如く，商工は千歳を祝う鶴に類す．両者相俟（あいま）って始めて完全なる経済の発達を見るべく」として理想国家像を描いている．その後間もなく英文で「武士道」が書かれ，日本人を改めて見直し精神的な自信を植え付け，今もなお読み継がれている．「われ太平洋の架け橋とならん」は東大入試で面接時の答えだという．

高潔な日本人像で筋金入りの武士道の人という表現がぴったりの人物に出会った．百歳を越えてなお矍鑠（かくしゃく）として今も活躍される人物，奥野誠亮元文部大臣である．政治家として国を背負って活躍した信念の人であり，平城遷都1300年記念事業や地方行政に通じてその薫陶を受けた方々は多い．信念と展望を持ち，義に厚い高潔のサムライの風格がある．アジア福祉教育財団の理事長を30年以上も務めて身近なアジア諸国との友好交流を推進し，今も101歳で名誉会長の任にある．滔滔（とうとう）と語る直立姿勢に感動と敬愛の念を禁じ得ない．事有る度にあたふたし，TPPと連動したかのように農協指導機関の中央会切り捨て論も出る時勢，今の政治家に彼の本を読ませたいものだと申し上げたところ，ホホゥとうなずかれたのが印象に残る．久しぶりに本物の日本人に触れた思いだ．先人達が熱い思いで築き上げてきたものを，柔軟に受け止める姿勢を持ちたいものだ．

（柏）